

有限会社 エル・エイソフト

# 会社案内

2020年1月改訂

*IAsoft*

## LAsoftは実験室の総合的な自動化を目指します。

LAsoftのLAとはLaboratory Automation（実験室の自動化）の頭文字をあらわしています。

会社設立以来、研究室・実験室向けのコンピューターソフトウェアの企画開発を主な事業内容とし、特に設立者が1987年当時から研究してきたMS-WINDOWSを利用した応用製品に力を注いでまいりました。

Windows 環境によるマルチタスクを実現した、クロマトデータ処理システム CDSをはじめ、クロマトを中心とする制御系のシステム、装置組み込み用のROM化製品、リアルタイム処理、自動処理等の製品開発も行ない、様々な企業にOEM製品、関連システムを提供しております。

また1998年には、ホームページを開設し、インターネットからの更新版のダウンロードサービスを開始。LAsoftはこれからも実験室の総合的な自動化を目指し、質の高いソフトウェアの供給や各ユーザーへのサービスに努めてまいります。

## 事業内容

近年のマイクロプロセッサの発達とその応用分野の広がりには目を見張るものがあります。特に、パーソナルコンピュータ、ワークステーション、ローカルエリアネットワーク、クラウドコンピューティングの普及は実験室における自動化の分野で無限の潜在的可能性を作り出しています。

もともと分析機器の分野では古くからマイクロプロセッサの応用が進められ、最も成功をおさめている分野の一つです。しかし、残念ながら今日形成されている新しい条件に立ち後れてしまっている感は否めません。そこでLAsoftでは次のポイントに力を入れた開発を進めています。

### Windows をベースとしたパソコン応用製品の開発

これからのシステムはどんなに優れたものでも表計算やデータベースその他のソフトと連携した動作のできないものであっては有効に活用できません。LAsoftはWindowsが持つG U I 機能（Graphical User Interface）、マルチタスク機能、データ交換機能を有効に活用した統合的なシステムを開発しています。

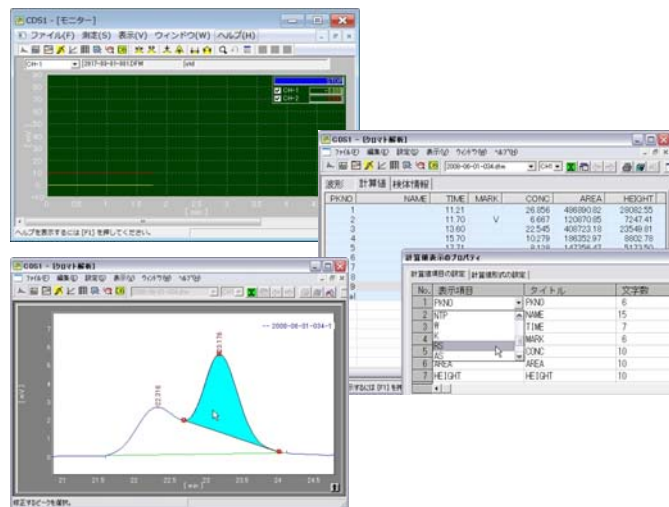
### LAN ・ WEB 応用製品の開発

これからは個々の装置の自動化にとどまらず、実験室単位でネットワーク化した情報の共有、有効利用が計られるべきです。LAsoftは実験室レベルの自動化を目指すシステム開発を目指します。

また、昨今のインターネットの普及は目を見張るばかりです。便利になったWEBブラウザを活用し、より簡易な操作を実現できるようなシステム開発を目指します。

## CDS -クロマトデータ処理システム-の開発と保守

クロマトグラフィーのためのパーソナルコンピュータを用いたデータ処理システムCDSは、Windowsをプラットフォームとした先進のシステムで、弊社の主力商品です。4 CHの検出器入力を並行処理可能で、Excel 等の表計算等もマルチタスクで使用できる環境を実現しています。操作は親しみやすく、なによりも簡便です。面倒な検量線作成作業も波形を確認しながら効率的に行うことができます。2004年に発売以来、機能を充実させ、改良、バージョンアップを重ねて現在も多くの企業や教育機関でお使いいただいております。今後もユーザーの皆様の要望にお応えすべく努力してまいります。



## ニーズに適したカスタムシステム開発・OEM製品の提供

弊社ではクロマトグラフィーのためのデータ処理システムを、様々な企業のニーズに合わせてカスタマイズしたシステムを提供してまいりました。これからも、それらの製品の保守や開発作業に尽力してまいります。

現在の主なご提供先	製品名	製品概要
株式会社 大阪ソーダ (旧資生堂)	S-MicroChrom	NANO SPACE 液クロ用クロマトデータ処理
株式会社 大阪ソーダ (旧資生堂)	システムコントローラ	NANO SPACE 液クロ用システムコントローラ
ジーティーアールテック株式会社	HCP、GTR	ヤナコ製ガスクロ用クロマトデータ処理
日機装株式会社	NKS-CDS	イオンクロマトデータ処理システム
東亜ディーケーケー株式会社	ICA-CDS	イオンクロマトデータ処理システム

過去に製作したご提供先	製品名	製品概要
アロカ株式会社	RLC	RLC-701用ソフトウェア
日本フィルコン株式会社	CAC	クロマトデータ処理システム
株式会社 出光興産	LANシステム	クロマトデータ処理の研究室LANシステム
サイエンスソフトウェア株式会社	Rapid-Chrom	脂肪酸分析ソフトウェア

## システム納入実績

販売台数(2019年12月現在)

約950台 (USB版のみ、OEM製品も含む)

### 販売実績

#### 主なOEM先

大阪ソーダ(旧資生堂)、日機装、ジーティーアールテック、東亜ディーケーケー

#### 主な納入先(順不同)

##### 一般企業

旭化成(株)、出光興産中央研究所(LANシステム)、  
出光興産先進技術研究所(旧出光石油化学)(LANシステム)  
伊那食品工業(株)、(株)IHI、京セラ(株)、(株)カネカ(株)環境管理センター、環境衛生薬品(株)  
光陽化学工業(株)、(株)コスモステクニカルセンター、コニシ(株)、栗田工業(株)、信和化工(株)  
高市製薬(株)、田中貴金属工業(株)、太平洋セメント(株)、第一三共RDノバーレ(株)、東ソー  
東京応化工業(株)、東亜DKK、東芝(株)、豊田中央研究所、日本製紙(株)、日本農薬(株)、  
(株)日本触媒、日本キューテック(株)、日本アエロジル(株)、野村興産(株)、ハウスウエルネスフーズ(株)、  
富士紡ホールディングス(株)、富士フィルム(株)、豊国製油(株)、日立中央研究所、ミツカン本社(株)  
三菱化学(株)、三菱ガス化学(株)、(株)明電舎、ユニマテック(株)、リコー(株)、  
(独)産業技術総合研究所、(独)国立環境研究所 (独)日本原子力研究開発機構、  
(独)医薬基盤研究所、(独)海洋研究開発機構、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、  
農業環境技術研究所、森林総合研究所、沖縄県工業技術センター、鹿児島県環境保健センター、  
長崎県環境保健センター、香川県産業技術センター、鳥取県産業技術センター、愛知県衛生研究所、  
東京都健康安全センター、東京都健康長寿医療センター、セメント協会研究所、  
埼玉県食品衛生協会検査センター

##### 教育機関

北海道大学、藤女子大学、北見工業大学、弘前大学、秋田大学、山形大学、東北大学、東北薬科大学、  
宇都宮大学、群馬大学、足利工業大学、千葉大学、筑波大学、茨城大学、埼玉大学、  
防衛医科大学校、東京大学、東京理科大学、東京電機大学、東京工業大学、東京工科大学、  
東京慈恵会医科大学、東京海洋大学、東京学芸大学、芝浦工業大学、首都大学東京  
東邦大学、東洋大学、法政大学、日本大学、上智大学、武蔵野大学、工学院大学、玉川大学、北里大学、  
お茶の水女子大学、女子栄養大学、実践女子大学、静岡大学、静岡県立大学、東海大学、浜松医科大学  
沼津工業高等専門学校、名古屋大学、名古屋工業大学、愛知学泉大学、金城学院大学、岐阜大学、  
長野工業高等専門学校、福井大学、福井県立大学、石川県立大、富山大学、富山県立大学  
富山工業高等専門学校、北陸先端科学技術大学院大学、金沢工業高等専門学校、滋賀県立大学、  
鈴鹿医療大学、同志社大学、立命館大学、三重大学、大阪大学、大阪府立大学、大阪工業大学、  
関西大学、京都大学、近畿大学、神戸大学、奈良工業高等専門学校、兵庫県立大学、神戸薬科大学  
川崎医科大学、広島大学、広島国際大学、福山大学、岡山理科大学、吉備国際大学、鳥取大学、  
山口大学、愛媛大学、高知大学、徳島文理大学、香川大学、水産大学校、九州大学、北九州市立大、  
福岡大学、福岡工業大学、長崎大学、佐賀大学、大分大学、宮崎大学、尚絅大学、熊本大学、  
崇城大学、鹿児島大学、鹿児島純心女子大学、琉球大学 … などその他多数

## 会社沿革

- 1991年4月 設立
- 1991年8月 クロマトデータシステムの Windows 3.0 対応作業完了
- 1991年9月 日本クロマト工業株式会社よりクロマトデータシステムの全ての権利を取得
- 1992年1月 井内盛栄堂音声応答在庫管理システム開発
- 1992年4月 クロマトデータシステムCDS plus ver 4.1 発売
- 1993年5月 LA用ネットワークシステムLANET開発
- 1993年9月 出光興産中央研究所、研究室用LANシステム納入
- 1993年10月 資生堂NANO SPACE 液クロ用システムコントローラ出荷開始
- 1995年2月 IBM/AT互換機用 クロマトデータ処理CDS plus ver 4.2発売
- 1998年11月 INTER NETドメイン取得。HP開設。
- 1999年9月 資生堂用 32 bit版 クロマトデータシステム出荷
- 1999年10月 クロマトデータシステム 2000年問題対応作業完了  
CDS plus ver 4.3 にバージョンアップ
- 2004年1月 クロマトデータシステム CDS plus ver 5.0 にバージョンアップ
- 2004年4月 クロマトデータシステム CDS-plus ver 5.0 ノートパック発売
- 2007年9月 クロマトデータシステム CDS-plus ver 5.0 USB版発売
- 2008年1月 クロマトデータシステム CDS-Lite ver 5.0 USB版発売
- 2013年7月 クロマトデータシステム CDS Windows 64bit環境に対応
- 2017年4月 クロマトデータシステム CDS Windows10 に対応

## 会社概要

名称	有限会社 エル・エイソフト
設立日	1991年4月10日
資本金	3,000,000円
所在地	〒270-01千葉県流山市平和台4-36-24 中島ビル1F TEL 04-7159-2949 FAX 04-7158-8122
代表者	秋山 稔
設備	コンピューター 20台、カラーレーザープリンター複合機 光ファイバーインターネット回線完備 社内サーバクライアントネットワーク完備 Windows 開発ソフトウェア多数、Tectronix オシロスコープ
従業員	3名
主な取引先	株式会社 大阪ソーダ サンヨーファイン医理化テクノロジー株式会社 ジーティーアールテック 株式会社 東亜ディーケーケー 株式会社 日機装 株式会社 全国の研究機関、国立大学、私立大学、高専 など多数
取引銀行	京葉銀行
取引口座	流山支店 普通 2733681
支払い条件	月末締め、翌月末銀行振込
Homepage	<a href="https://www.lasoft.co.jp/">https://www.lasoft.co.jp/</a>
E-mail	<a href="mailto:webmaster@lasoft.co.jp">webmaster@lasoft.co.jp</a>

## アクセス

### ●お車で来られる方

常磐自動車道 流山インターを流山・松戸方面にあり、信号を右に折れてください。この地点から2.2Kmほどです。

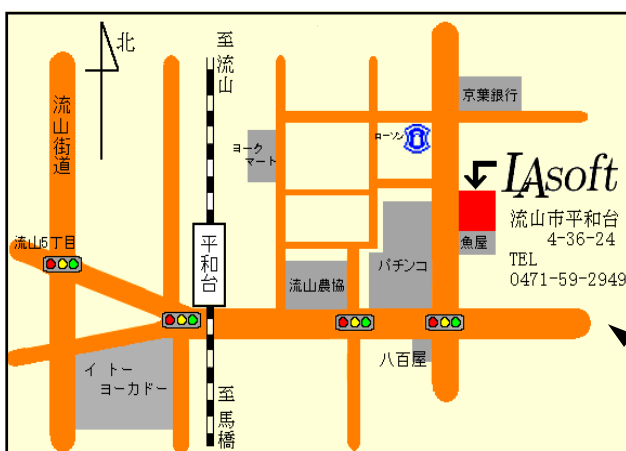
### ●電車で来られる方

JR武蔵野線・つくばエクスプレス(TX) 南流山駅 より東武バスで平和台3丁目下車 徒歩0分

流山線 平和台駅 徒歩5分

JR武蔵野線/千代田線 新松戸駅から流山線 幸谷駅へ乗換(徒歩1分)。

幸谷駅から平和台駅までの乗車時間は約10分です。



*LAsoft*

Copyright 2020 by LAsoft LTD.

All rights reserved.